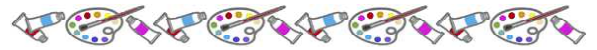




令和5年度 学校だより



第15号
令和5年10月6日
大洗町立南小学校



令和5年度 前期終業式

本日6日(金)、前期終業式を迎えました。児童を代表して、3年生さん、5年生さんの二人が、前期を振り返り、心に残ったことやがんばったことなどを壇上で堂々と発表しました。その言葉や表情からは、学習や生活、行事の中で「分かった」「できた」という達成感が伝わってきました。

さて、本日子供たちは通知表「あゆみ」を持ち帰ります。ご家庭でも楽しみにお待ちになっていることだろうと思います。「あゆみ」の大きなねらいは、子供たちが次に進めるように、やる気を引き出すことだと捉えています。「あゆみ」を通して、お子様が前期に学習した内容がしっかりと習得できたかを確認していただくことはもちろんですが、何よりもお子様の成長にぜひ目を向けてください。そして、たくさん褒めていただければと思います。きっとその言葉がお子様の前向きな姿勢につながるものと思います。保護者の皆様のご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

校長 福田 雅美



前きの生活

三年

わたしは、三年生前きの学習と生活について、一番心に残ったことをふりかえり、まとめたことを発表したいと思います。はじめに学習についてです。わたしは「一番心に残ったことは、社会で、のう家の仕事について調べたことです。」



のう家について調べる時は、それぞれ「いちごグループ」「さつま分かれて行きます。わたしは、いちごグループになりました。一番知ってびっくりしたことは、のう家さんは、午前四時三十分起きて、じゅんぴをするということです。のう家のいろいろなことが知れてよかったです。次に、生活では、みんなとなくよくすることです。わたしは、男の子かんけいなく、なかよくみんな生活することが大切だと思えます。そのためには、みんなとけん力をしないで、なかよくみとめあうクラスをつくりたいです。わたしは、後きも勉強や運動、そしてみんなとなくよくすることをつづけていきたいと思っています。



前期を振り返って

五年

高学年に仲間入りして半年がたちました。今日はわたしが前期でがんばったことを発表します。まず、学習面では、家庭科をがんばりました。わたしは、五年生になる前から、家で料理や裁縫をしていました。そのため、五年生で始まる家庭科をとても楽しみにしていました。実際に家庭科が始まって、調理実習をやってみたら、家庭科の楽しさがとても分かりました。私たちだけで調理をするのはむずかしかったけれど、上手に作る事ができたのでとてもうれしかったです。後期は、ミシンやアイロンの学習があると聞きました。よりむずかしくなると思うので、もっとがんばりたいです。



生活面では、グループで行動することの大切さやむずかしさを学びました。とくに遠足では、ほとんどが班行動でみんな協力しあうことが大切だと分かりました。班で計画を立てることは大変でしたが、すべて計画通りに行動できたのは、みんなで協力できたからだと思います。また、一人一人が役目を果たすことも大切だと思いました。わたしは、副班長として班長のサポートを心がけました。みんなが自分の役目をしっかりと果たせたことで、とても楽しい遠足になったと思います。後期には、運動会があります。五年生では、ISOダンスや係の活動などが増えてきます。なので、高学年として下級生に教えたり、六年生をささげたりすることをがんばってしていきたいです。



素晴らしい活躍に拍手！

☆茨城県発明工夫展(東茨城郡展) 金賞 ○○○ ○○さん
☆土浦市民柔道大会 団体戦 優勝 ○○ ○さん
☆みんなにすすめたい一冊の本推進事業 県教育長賞(50冊) 14名

☆茨城県児童生徒科学研究作品展(東茨城郡展) 金賞 ○○ ○○さん 銀賞 ○○○ ○○さん